

## 男鹿真山伝承館：実演 開始挨拶（2）

真山では、なまはげは家に入る前に、7回足を踏み鳴らします。そして家に入り、「ここに怠け者はいないか。ここに泣く赤ん坊はいないか。」と叫び、そのような人がいないか探して家の中を歩き回ります。家長はなまはげのために食事を用意し、座るよう頼みます。なまはげは5回足を踏み鳴らしてからそれに従います。次になまはげは、その年の収穫や家族の問題についてなどの話題を、住人に尋ねます。最後になまはげはもう3回足を踏み鳴らし、再度家の中を歩き回ります。足を踏み鳴らす回数7、5、3という数字の組み合わせは、日本では縁起がいいものと考えられています。

なまはげが家の中を歩き回ると、しばしば着ている衣装から藁が床に落ちます。落ちた藁は聖なるものと考えられており、その夜は床に残されます。特に長いものを頭に巻くと風邪をひかなくなるとも頭脳明晰になるとも言われています。パフォーマンス後に落ちている藁を拾っていただくのは大丈夫ですが、なまはげから藁を抜き取ることはお控えください。そうするとなまはげに宿る神が逃げてしまい、藁の効力もなくなると言われています。

これからご覧いただくパフォーマンスは、数十年前の真山でのなまはげの訪問を再現したものとなります。パフォーマンス中には写真撮影も可能で、良いアングルから撮影するために動き回っていただくこともできますが、パフォーマンスがいる部屋には絶対に入らないでください。ではごゆっくりショーをお楽しみください。